

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議にて、出席者には個人情報漏らさないようお願いした上で、利用者紹介や事故報告では写真や実名を出していたが、長年続けていけば漏れてしまう可能性はゼロではない。	運営推進会議における利用者の個人情報の扱い方を見直す。	利用者紹介は廃止し、居住地域のような情報も伝えないようにする。活動報告や事故報告の時も利用者名はイニシャルで表記するように改める。	3ヶ月
2	3	今年度5月に新型コロナウイルスが5類に移行され、数年ぶりに運営推進会議を事業所で開催することになったが、コロナ禍以前と比べ出席者が少ない状況が続いている。特に家族と地域住民代表の出席に対する工夫が足りなかった。	出席者、特に家族や地域住民代表の出席者を増やすよう努める。	これまで事業所への距離が近い特定の家族に代表をお願いしてきたが、全家族の当番制にし各会議に振り分ける。また、開催時間を午後に見直す等新しい試みを実践する。	12ヶ月
3	1	今年度5月に事業所の理念において、職員が取り組むテーマを作成しているが、こうしたものを外部に向けての発信する試みが不足している。	事業所の理念を、多くの人と共有する。	家族や運営推進会議に向けて、理念やそれに向けての取り組み等を報告する機会を作る。	12ヶ月
4	13	今年度からBCPへの取り組みが義務化されるが、これまでは避難訓練が中心で災害後のことはあまり考えていなかった。今後はBCPをきっかけに自然災害後被災したの対策を整備していく必要がある。	BCP対策を充実させる。	研修や訓練を通して、職員のBCPへの理解を深め、事業所の課題を分析する。全国で起きている水害や地震を教訓にして、より一層自然災害に備える。	24ヶ月
5	18	新型コロナウイルス感染予防のため、利用者が自由に外に出る機会が失われた。昨年、5類に移行したとはいえ、地域で感染が広がっているという情報は途絶えず、なかなか外出に踏み出せない状況が続いた。	外出の機会を増やすよう努める。	感染への警戒は引き続き行いながらも、季節を感じてもらえるような外出や利用者の希望に添えるような外出の機会を、少しずつ増やしていく。	24ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。